

令和5年度  
沖縄県立芸術大学大学院 造形芸術研究科  
生活造形専攻 工芸専修 入学選抜試験  
共通筆答試験（小論文）問題

【問 題】

「これからの工芸作家の在り方」について、自分の考えを述べなさい。

但し、自分自身の専門領域のみの記述とならないように、幅広い領域で考察すること。

※問題に関する質問にはお答えできません。

<注意事項>

- 1.所定の原稿用紙2～4枚（800字～1600字）で記述すること。
- 2.記述は所定の時間内で行うこと。

令和 5 年度

沖縄県立芸術大学大学院 造形芸術研究科 生活造形専攻

工芸専修 染研究室 実技試験問題

試験時間 13:30～16:30

配布物 画用紙 1 枚、下書き用紙 2 枚、直定規 50cm、L 型定規、三角定規、  
絵皿 3 枚、摺込み用刷毛、絵の具（白）、型紙 3 枚(予備 1 枚含む)、  
デザインナイフ、替刃 30 度、カッターマット、雑巾 1 枚、新聞紙  
彩色筆、平筆、カーボン紙、トレーシングペーパー、水差し

**\* 墨汁は共同で使用します。**

使用できるもの 各自で用意した図案用具(鉛筆、消しゴム、マジック類、定規)

**\* 試験開始 30 分までに、監督者に確認してから使用してください。**

注意事項 試験の合図があるまでは、問題用紙を開かないこと

**※問題に関する質問にはお答えできません。**

## 問題

自身の手をモチーフに、下記の制作上の注意事項を参照し、配布された型紙 2 枚を用いて、四つ切り画用紙へステンシルしなさい。

## 制作上の注意事項

- ① 自身の手をモチーフに、2 種類の図案(9cm×9cm サイズ)を作成する。
- ② 配布された型紙 2 枚の中心位置に、9cm×9cm の正方形を鉛筆の線で引く。  
\* 残りの型紙 1 枚は、予備として使用してもしなくても良い。
- ③ ②の型紙 2 枚に、①で作成した 2 種類の図案を 9cm×9cm の正方形に写す。
- ④ ③の型紙をカッターマットとデザインナイフを使い、黒で摺り込む場所を切り落とし、2 枚の型紙を作成する。
- ⑤ 画用紙は横位置で使用し、9cm 間隔で縦に 6 本、横に 5 本の線を鉛筆で引き、9cm×9cm の正方形 20 マスを、画用紙の中心位置へ作成する。  
\* 画用紙のサイズは約 54cm×38cm、左右約 4,5cm、上下約 1cm あける。
- ⑥ ④で制作した型紙 2 枚を、⑤の 9cm×9cm の正方形に、摺り込み刷毛で墨汁を摺り込む。  
\* 2 枚の型紙は 10 回ずつ使用すること。型紙は自由に配置し、裏面を使用しても良い。また修正の為に、マジック類、絵の具(白)の使用を認めるが、全ての黒をマジックで塗らないこと。
- ⑦ 墨汁が乾いたら、画用紙に引いた鉛筆の線を、消しゴムで消すこと。
- ⑧ 画用紙の裏面右上に、鉛筆で受験番号を記載する。画用紙は横使いである。
- ⑨ 下書き用紙は図案作成のために自由に使用しなさい。または使用しなくても良い。
- ⑩ すべての配布物は、持ち帰らないこと。

令和5年度 沖縄県立芸術大学大学院 造形芸術研究科

生活造形専攻 工芸専修  
陶磁器研究室 実技試験問題

【問題 1】 試験時間 13:30~14:30

用意された粘土を使用し、指定されたトンボを用いて、  
電動轆轤で1時間以内に碗を数挽きしなさい。

【問題 2】 試験時間 14:30~16:30

受験生自身の制作テーマに則って、未来に制作する作品のエスキースを描  
写しなさい。また、制作意図などを400字以内で説明をしなさい。

【注意事項】

1. エスキースは、画面に正面と側面（2方向）、加飾も想定して描くこと。
  - ・鉛筆のみ素描すること
  - ・回転体の場合は、正面のみ描くこと
2. 制作説明には、制作意図と使用する生地土、釉薬（無釉）、焼成温度や雰囲気も記述すること。

※ 準備しているもの

- ・素描道具、筆記用具
- ・クロッキー画用紙
- ・原稿用紙

※ 提出するもの

- ・エスキース
- ・制作説明（原稿用紙）

令和5年度  
沖縄県立芸術大学大学院 造形芸術研究科  
生活造形専攻 工芸専修 入学者選抜試験  
漆工研究室

【 実技試験問題 】

試験時間 13:30～16:30

配布物

・解答用紙（完成予想図）	A3サイズの白画用紙	1枚
・説明書	A4サイズ	1枚
・下書き用紙	A3サイズ	2枚

使用できる用具

・素描用具、色鉛筆

※注意事項

- ・試験開始の合図があるまでは、問題用紙を開かないこと。
- ・定規、コンパス等その他の用具は使用しないこと。

## 【問 題】

1. 解答用紙 A3 (420mm×297mm) サイズの白画用紙に「風」をテーマとし、加飾を施した漆芸作品（立体）の完成予想図を描きなさい。  
(下書き用紙は自由に使用して良い)

2. 説明書の項目にしたがって作品の内容について記述しなさい。

\*問題に関する質問にはお答えできません。

## 【注意事項】

1. 加飾部分は色鉛筆で着色する。
2. 作品本体の色は「黒」又は「朱」と想定し色鉛筆で着色する。  
(本体の着色は「黒」か「朱」か判別できる程度で良い)
3. 加飾部分の素材や技法が分かり易いように表現すること。
4. 定規やコンパスは使用しないこと。
5. 説明書の「作品の環境」とは、使用又は設置する場所・状況・目的・他者との関わり・その他、作品を取り巻く全てを意味する。
6. A3 サイズの白画用紙のタテ・ヨコは自由とする。作品の上下が分かるように裏面上部中央に作品の上部を示す矢印 ↑ を鉛筆で明記する。
7. 全ての用紙の裏面ラベルに受験番号を記入すること。

## 【提出するもの】

- ・解答用紙（完成予想図） A3 サイズの白画用紙 1 枚
- ・説明書 A4 サイズ 1 枚
- ・下書き用紙 A3 サイズ 2 枚